

第27回全国トンボ市民サミット 和歌山大会に参加して

ハッチョウトンボを育む会 三原一高

今年の全国トンボ市民サミットは、10月1日と2日に和歌山県の県庁所在地和歌山市を中心会場として行われました。1日目は午後からエクスカージョンが海南市孟子(もうこ)不動谷・橋本市柱本芋谷・日高郡印南町の3会場で開催されました。

私は南海市孟子不動谷コースに参加しました。孟子不動谷里山公園はJR和歌山駅より、わかやま電鉄貴志川線で25分「大池遊園駅」(ちなみにこの駅より3番目、終点・貴志川駅があひの猫のたまちゃん駅長で有名)で下車、車で10分ほどのところからずーと続く谷がそうです。

1998年東西800m6.5ha谷全体が耕作放棄地になっている地域を自然回復を試みボランティア有志で始めました。

生き物の賑わいのある美しい農村をとりもどせば、環境問題やいじめ、ノイローゼ等の現代病も克服するヒントが隠されていることに確信を持ち、現在は、NPO法人 自然回復を試みる会ピオトープ孟子となり、日本ユネスコ協会連盟第1回プロジェクト未来遺産登録地であり、その活動は総理大臣賞、環境大臣賞を受賞していました。

準絶滅危惧種で青い赤トンボの「ナニワトンボ」も観察、里山資料館「山案山子」では会員夫人の手作りのヨモギ餅をいただきながら説明をうけました。

夜は、例年のごとく大懇親会でした。

2日日本大会は開会式の後、午前中に講演が2つ。南敏行熊野自然保護連絡協議会会長から「和歌山県のトンボ相について」と玉井済夫公益財団法人天神崎の自然を大切にするとする会業務執行理事から「天神崎の自然とナショナル・トラスト運動」についてが、ありました。

午後は、子どもたちを交えた活動研究報告がありました。

まずは3組。①昨日私たちが訪れた孟子のピオトープについて、「自然回復を試みる会・ピオトープ孟子」と題して和歌山県立向陽中学校理科部の生徒と海南市立東海南中学校2年宗尚輝君が特にアオバズクの調査について発表②昨日のエクスカージョンBコースの「はしもと里山学校」について和歌山県立古佐田丘中学校生徒から③和歌山大学の古山暁君と自然博物館学芸員の松野重富君からコサナ工属3種の和歌山県と奈良県の分布の違いについて発表がありました。

その後、この発表者によるパネルディスカッションが行われました。多くの中学生が昆虫に関心を持ち、活動していることに将来明るいと感じさせられました。

最後に和歌山県知事の挨拶があり、知事は昆虫少年?であり、今でも暇があれば昆虫を追っかけているとのことでした。環境行政は、全国一律に法律を作っているが、本当に内容をわかってやっているのか。地域・季節に沿って決まり事を作るべきではないかとも言っておられました。

来年の大会は第28回全国トンボ市民サミット宮城(仮称)大会

●日程 2017年10月28日(土)・29日(日)
21・22日の場合あり

- 会場 宮城県名取市
- 集合 名取市 サッポロビール仙台ビール園(案)
- 事務局 大久保ちから「名取市議会議員」
名取市手倉田字諏訪288-3 (TEL022-382-4602)
となり無事引継ぎが終了しました。



「ハッチョウトンボを育む会」について

ハッチョウトンボが生息する駒ヶ根市南割公園は、中央自動車道を造る際の盛り土を採取するため、山麓部の斜面を削ってできた場所です。この場所で最初にハッチョウトンボが確認されたのは1989年。その後、ハッチョウトンボに思いを寄せる人たちによって静かに見守られてきました。

そんな折、この公園内に球場建設の計画が持ち上がり、それを機に、駒ヶ根市民にハッチョウトンボを広く公開し、環境保全への意識を高める中で保護していこうということになりました。

1999年10月に「ハッチョウトンボを育む会」が結成され、毎年、生息地の整備をし、観察会や希少動植物の保護と普及活動を行っています。

(内容は、「ハッチョウトンボを育む会」のホームページより抜粋しました。)

長野県駒ヶ根市は、2013年の第24回トンボサミットの開催地です。今年のサミットの様子を寄稿して頂きました「ハッチョウトンボを育む会」へ心より感謝申し上げます。(銀)

世界最小のハッチョウトンボ
と一円硬貨



【連載11】続・トンボ百科 ～ アカデミー賞の特別オープニング賞か！～

⑪ トンボもハリウッドデビューした？

トンボが映画に出演？これはまぎれもない事実だ。地球に移民した宇宙生物たちにウイル・スミスらが対応する「メン・イン・ブラック」がそれだ。オープニングの2分22秒間優雅に星空を舞う主人公。その緑色の大きな両複眼の線状接点は、間違いなく彼がヤンマの仲間であることを物語っている。その後ハイウエーに迷い込んだ彼は、最初のトラックはかわすも後続車を避けきれずフロントガラスに飛び散り、映画は本論へと入る。でも夜にトンボが飛ぶかって？

実はカトリヤンマやコシボソヤンマは、黄昏飛翔といって遅い時は夜8時近くまで餌の小虫を追い回す。

どおいで主人公はヤンマ類なわけだ。

(文責: 田口正男農学博士)



ギンヤンマ
複眼の直線的な接し方に注意

(シリーズ) トンボみちの仲間たち

9月24日(土)のファンクラブ活動の様子です。(撮影: 柴田さん)



夏季常設オアシスの補修



配付する苗木のポット上げ



稲の実り



秋の使者
アキアカネ



お腹の大きな
カマキリ



ファンクラブのみなさん

活動予定 ※雨天は1週間延期
 今月: 10月22日(土) 9時~11時
 来月: 11月26日(土) 9時~11時
 事前の申込みは不要です。誰でも参加可能!
 公式ホームページをご覧ください

トンボみちファンクラブ

検索

JFEトンボみち ファンクラブ通信 2016年10月号
 発行日: 2016年10月19日
 発行者: トンボみちファンクラブ
 連絡先: ファンクラブ代表 柴田 090-4627-8821
 ◆ファンクラブ通信への自由投稿をお待ちしています

※「JFEトンボみち」はJFEエンジニアリング(株)が地域の皆様に開放している公開緑地です



京浜の森ロゴマーク